

ひだまり

平成30年6月27日 発行 第63号

〒134-8625 東京都江戸川区北葛西4-3-16 暖心苑



暖心苑

経営理念

- 一、暖かい心と笑顔で、利用者の立場に立った満足度の高いサービスを提供します。
- 一、利用者の皆様が、生きがいのある安全で安心した生活が送れるよう自立を支援します。
- 一、地域との連携により、熟年者等の福祉・健康づくりを推進します。
- 一、専門的な知識と技術と至誠のある職員を育成します。

暖心苑 開設30周年特集号

特養 記念祝賀会



デイサービス 記念祝賀会



役職員 記念祝賀会



暖心苑 開設三十周年にあたって

理事長 妹尾 式子



暖心苑は本年四月無事に開設三十周年を迎えることが出来ました。これも偏に行政機関のご指導をはじめ、ボランティアを中心とした地域の皆様の暖かいご支援、ご協力の賜ものことから感謝いたします。また苦楽を共にした役員の方々、たゆまぬ努力にもお礼を申し上げます。中でもご利用者やご家族の皆様の法人、施設へのご理解とご協力がどんなに職員の励みになったか図りしれません。

三十有余年前、青山前理事長の都市型特養の造設への熱い念いを受け止め、ご協力をいただいた東京都、江戸川区のご英断に感謝し、そのご恩に報いるべく、ご利用者のため、そして地域福祉への貢献に尽力してまいりました。

悲喜交々の年月でしたが、いつもご利用者やご家族の笑顔を励みとし職員と共に精進してまいりました。いくつもの辛い経験も今に生きており、過去の一日一日の積み重ねの上に今日があります。

去る五月には入所・通所のご利用者の皆様には記念品のプレゼントを昼食時に祝賀会を、また役職員は内輪でのさやかな祝賀の夕べを開催し、永年勤続者等の表彰を行いました。

ボランティアの方々には今年十二月の「感謝の集い」で祝賀会も兼ねて実施の予定です。

改めて、この三十年という大きな節目にあたり、暖心苑はこれからどのような施設を目指すのか等を熟考し、皆様のご協力を得ながら前進してまいりたいと存じます。

一方今、介護の現場では、人材不足、求人難に直面しております。ご利用者の皆様にはご迷惑をおかけしており心の痛む思いです。

そのような情状のなかでも、笑顔と暖かい心を忘れず、真心をこめてご支援出来るように努力をしてまいります。更に五年、十年先もっとすばらしい暖心苑であることを願って止みません。

30周年特別企画

暖心苑 勤続30年 職員より 暖心苑への思いをつづります。

事務長
佐藤 明人



この度、永年勤続表彰を受賞させて頂きました。昭和63年4月入職以来、今年の4月で勤続30年を迎えることができました。これまで仕事を通じて関わってきた多くの関係者・役職員・数少ない同期職員の方々、そして私の家族に感謝の気持ちでいっぱいです。今後も「粉骨砕身」業務に努めて参ります。

デイサービス
主任
中川 次郎



昭和63年の開設当初から、30年間、本当にお世話になりました。

この30年間は自分自身の人生の半分以上を費やしてきましたが、それまでには大勢の、利用者・家族との出会いや別れ、また地域の方々や職員に支えられてきたからこそ、この30年間、頑張ってきたかと思っております。これからも、より良い介護サービスが提供できるよう、日々邁進しながら努力して参りたいと思っております。

介護課長
若色 美樹



昭和63年4月、まだ学生気分が抜けないうまま仕事が始り、毎日が手探りの状態でしたが楽しく仕事をする日々でした。あれから30年、措置から介護保険へ制度が変わっていく中、様々な事がありましたが、今振り返ると、あっという間に過ぎた時間です。介護職員、生活相談員、介護課長と違う立場で仕事をさせて頂きましたが、どの立場であっても利用者の皆様が「暖心苑で過ごしてよかった」と感じていただけるよう職員と共に仕事をして参りました。その中で、多くのご利用者やご家族との出会いと別れを重ね、様々な経験をさせていただき、改めて介護の仕事の奥深さ、魅力を感じています。多くの仲間、皆様に支えられ、今の私がいます。感謝の気持ちでいっぱいです。

看護職員
石塚 洋子



昭和63年4月に暖心苑に就職し、先日勤続表彰をして頂きました。

振り返れば感慨深いものがあります。

皆様に支えられての30年間でした。感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

30周年特別企画

●30年の歩み～思い出とともにこれからも・・・～

暖心苑ってこんな場所

暖心苑をご利用いただいている方々それぞれに、暖心苑での生活や思い出についてインタビュー
代表して特養、ショートステイご利用者からコメントをいただきました。

特養 ご利用者
内田 壽子 様



Q暖心苑での思い出を教えてください

初めて暖心苑に来た日のことは覚えているよ。ここには他にも友達がいたからよかったよ。昔からいる職員には親しみがあるよ。頼みにくいことも頼んじゃう（笑）
今までいろんな所にいったな。水族館、買い物、船堀タワー、薔薇園。これからも景色のいい所、お花見に行きたいな。暖心苑での生活に、なんの心配もないよ。

特養 ご利用者
林 義一 様



Q思い出深い出来事があれば教えてください

入りたての頃は色々と利用者と喧嘩をしたのが今となっては良い思い出です。
ここの職員はみんな親切で感謝しています。これから短気を起こさず規則正しく生活し、長生きしたいと思っています。

ショートステイ
ご利用者
長嶋 末吉 様



Q暖心苑のショートステイは如何ですか？

ここは親切で至れり尽くせりです。自分で何でもやらなきゃいけない所もある中、食事も上げ膳据え膳で贅沢な気分（笑）自分が段々横着になっちゃうんじゃないかな（笑）
介護度が高い方も沢山いますが、職員さんは気を遣って、よくやっていると思います。
自分よりもそういう方のほうをやって欲しいと恐縮してしまいます。

平成二十九年度事業報告(概要)

東京清音会の平成二十九年度決算及び事業報告は五月開催の理事会において承認され、六月開催の評議員会において決算及び事業の報告行われ承認されました。

施設経営にあたっての「法人のビジョン」及び「経営理念」に沿った基本方針・事業計画に基づき次の事業サービス活動を行った。

事業経営の実績

○特養部門は入所者の体調不良、重症化で入院者が多く、目標値を達成できなかった。ショートステイ部門についても利用者の体調不良、入院により目標利用率を達成できなかった。

○デイサービス部門「一般・認知症通所介護」については、体調不良等により長期入院・療養で休む方が多かったが、「一般通所」は目標利用率に達し、認知介護は、利用目標に達しなかったが、収入は、それぞれ前年を上回った。

○地域包括支援センターについては、地域で暮らす熟年者からの保健・医療・福祉・認知症などの様々な相談に対応した。

○熟年ふれあいセンター・熟年いきいきトレーニングは二十九年度いっぱい終了となるため新規利用者受入れがなく利用回数が減少した。

○居宅介護支援事業については、医療依存度の高いケースや困難ケースを積極的に受け入れ新規プラン作成に努めたが、入院・施設入所者等も多く、ケアプラン数は減少した。

二 利用者サービスの質の確保と向上

① 安全対策

ア 事故予防対策

事故予防対策として、事故発生の防止及び、発生時の対応指針に基づき、リスクマネジメント委員会が核となり関係職種の職員が連携して、職員への周知徹底・教育を図った。

アクシデント件数一覧

	件数
転倒	32 (53)
転落	60 (62)
外傷	241 (232)
誤嚥	4 (4)
誤投薬	3 (10)
他	55 (82)
合計	395 (443)

※保険者への報告 8 件
() 内は 28 年度

イ 感染症管理対策の実施

感染症の予防に努め、冬期流行期に短期入所2名、利用者1名、職員2名がインフルエンザを発症したが、早期の診断と治療及び感染拡大予防により施設内に蔓延せずに終息した。

エ 災害対策

消防防災計画に基づき毎月各種の訓練開催した。九月は自衛消防訓練審査会に出場し優秀隊を受賞。十一月は初の試みとして消防署および近隣保育園との合同訓練を実施。同月、社会福祉法人むつみ会「春陽苑」との合同訓練を実施。二月は江戸川区との合同訓練を実施する等、外部との機能強化を図った。また、大規模な災害を想定し、Jアラート対応マニュアルを作成し、各種災害対策の構築に努めた。

(2) 利用者への医療対策

ア 医療・看護体制

非常勤医師による健康管理を週四回行った。協力医療機関と連携して入院治療及び専門の診療科への受診・往診等により、利用者の疾病予防及び治療に努めた。また、看護職員の夜勤体制のほか、必要に応じて協力病院・近隣病院を受診した。

イ 看取り介護の実施

「看取り介護に関する指針」に基づき、最期の時まで穏やかに過ごして頂けるよう利用者本人の意思及び家族の意向を最大限に尊重し、看取り介護を実施した。

ウ 褥瘡予防への対応

「褥瘡対策指針」に基づいて、看護・介護職が連携し早期発見・予防及び治療に努めた。

ウ 身体拘束廃止への取組み

「身体拘束廃止の基本方針」に基づき、身体拘束をしないための取り組みを関係職種の職員が連携し実施した。

三 事業運営の透明性の確保

① 財務諸表等の公表

法令に基づき、情報公開、情報開示として、施設内掲示やホームページ等に定款・役員報酬規程、事業報告決算報告書、現況報告書を公表するなど、経営の透明化に努めた。

② 第三者評価（利用者調査）の実施

第三者評価機関による「福祉サービス第三者評価」を平成二十九年七月～十一月に実施した。調査結果をうけて関係各委員会において改善への取組みを行った。

③ 介護サービス情報の公表

平成二十八年七月に基本調査書を提出し、平成二十九年八月に基本的な施設情報および調査情報を「こうきょ福祉ナビゲーション」に公開した。

四 地域との連携強化

① 地域支援ネットワーク事業の推進

地域行政機関・団体及び地域住民等の多様な社会資源と協働しながら、地域の実情に応じた総合的な介護予防・支え合いを実践するため地域包括視線センターを

核とした地域支援ネットワーク事業を実施した。

介護予防教室 十二回・民生委員との懇談会 二回・介護者交流会 二十四回・サービス事業者情報交換会 六回・地域交流委員会（五回）

② 地域への貢献活動

地域の熟年者福祉団体 おしゃべりクラブに施設・設備を開放し、昼食や有益情報の提供、コピー機、カラオケ等の貸し出しを行いその活動を支援した。 月（回）

③ ボランティア・見学者・実習生等の受入れ

地域に開かれた施設として、①ボランティア活動 ②小学生・園児の体験学習 ③養成校等の実習生の受入れ ④介護サポーターの受け入れ を積極的に行った。また、ボランティア交流を兼ねた「感謝の集い」を実施した。

ボランティア活動ノートの活用や個別に要望等を相談し、特養・デイサービス共に積極的な受入れを行った結果、活動人数は大幅に増加した。養成校等の実習受入れについては、学生が減少傾向の中、積極的に受入れを行い、二十八年度と比べ増加した。

小学校・園児等の訪問については、感染症の多い冬期を除き予定通り実施できた。又、前年度に引き続き園児との交流を深める為に共同作品を作り、作品展示会で披露した。

五 苦情への対応

個別相談、特養事業である利用者・家族懇談会及びアンケート調査、第三者委員の巡回により相談、苦情等の把握に努めた。

苦情申出については、特養及びショートステイ、デイサービスについて申出はなかった。相談については内容を関係職員等に周知し改善に取り組んだ。第三者委員の活動については、特養の事業である家族懇談会への参加、広報誌の掲載により利用者、家族への周知に努めた。

六 人材育成・専門性の向上

職場内の人材育成と職員の介護技術・専門知識の向上を図る為、各種の施設内研修三十四回（延べ一八七名）、外部研修五十八回（延べ四十四名）を実施した。

七 江戸川区実地検査（法人・施設）

- ① 日時：平成二十九年十二月七日
- ② 検査員：江戸川区六名・東京都二名
- ③ 立会い：理事長、施設長、所長、各課長等、監事一名
- ④ 結果：文書による指摘事項はなし

八 施設管理

利用者に安全で安心した生活環境が提供できるよう、定期的に委託業者及び職員による保守・点検を実施した。設備工事は、経年劣化が著しかった地下浴室配管の更新工事を行った。

いきいきトレーニング(定員 各15名)

日常生活動作における身体状況に合わせた自宅でも行える運動プログラムを専門スタッフが個別に計画し指導します。

内容：足腰の筋力トレーニング、バランス運動、ストレッチ体操、セラバンド、体操など

費用：介護保険サービス利用料1割負担の場合→273円/1回
2割負担の場合→545円/1回

日時：毎週 木曜日/土曜日9：00～10：30

利用回数：事業対象者、支援1→週1回

**熟年センター**

このたびは、平成29年度をもって区委託事業としての熟年ふれあいセンターは終了となり、平成30年度4月から、新たな介護予防・日常生活総合事業として、暖心苑の施設にて「熟年センター」の事業を行うこととなりましたので、お知らせ致します。

開催日： 水、木曜日（祝日も開催） 年末年始はお休みとなります。

時間： 10：00～15：30

送迎： マイクロバスにて自宅近くまで送迎を行います・

場所： 暖心苑（多目的室を使用）

対象者： 熟年相談室にてチェックリスト調査で該当された方が対象

費用： 介護保険適用時の1割負担（2割負担）

**暖心苑船堀カフェ「やかた」のご紹介**

暖心苑船堀ではオレンジカフェ（認知症カフェ）を開催しています。暖心苑船堀カフェやかたは認知症の方や、そのご家族の方が気軽に立ち寄れてゆっくりとひと時を過ごすところです。奇数月の1日に1時間半程、来ている仲間と話したりコーヒーを飲みながら楽しい時間を過ごしています。ご希望の方は工作やカラオケに参加できます。認知症の方、ご家族の方のご来所を是非お待ちしております。

- ・開催日：2ヶ月に1回、奇数月の1日（日祝の場合はその次の日、1月は別日）
- ・時間：14：00～15：30
- ・場所：江戸川区船堀3-4-11 COFFEEやかた
- ・対象：認知症の方及びご家族
- ・参加費：無料

☆次回は7月2日（月）に開催予定です

**「冷やし甘酒」**

熱中症の対策法は、日差しを避ける対策の他、小まめな水分補給や塩分補給等とテレビなどからの知識で認識している方が多い様です。そこで、数年前から話題になっている甘酒のお話しを。

甘酒には、酒粕から作る甘酒と米麹から作る甘酒の2種類があり、熱中症対策には米麹から作る「水分」「塩分」「糖分」がバランスよく摂れる「冷やし甘酒」がお勧め。糖類を使わないので甘みはお米本来の甘みで、カロリーが低いことから、甘酒でダイエットも。お米のミネラル分がそのまま残り、アルコールが0%のため、アルコールが苦手な方でも飲める甘酒です。風味が苦手な方は豆乳や牛乳で割って飲むと飲みやすい。

「甘酒の季節は冬」、「甘酒は温かい飲みもの」というイメージを持っていませんか。

江戸時代、夏の暑さを乗り切る為、米麹から作られた甘酒を冷やした「冷やし甘酒」を、「甘酒、甘酒、あまざけ～」と天秤棒を担いで売り歩く甘酒屋は夏の風物詩で、「甘酒」は俳句では夏の季語にもなっています

健康を維持するのに欠かせない、夏の栄養ドリンクだったようで、庶民が安心して飲めるように値段が4文に幕府に保護され、夏の暑さによる体のだるさの軽減にも役立っていたのだとか。最近では「飲む点滴」とも呼ばれ、ブドウ糖やアミノ酸、ビタミンB1、B2、B6、食物繊維、グルタミン、水分など、点滴にとってもよく似た栄養が含まれ、特に、疲労回復や成長促進、貧血予防に役立つビタミンB群がたくさん入っています。

～平成30年度介護報酬改定のポイント～

特 養

●身体拘束等の適正化の推進

身体拘束の適正化のため「身体拘束等の行動制限についての基本方針」の整備、定期的な委員会の開催や研修の実施を今年度も行っていく。

以下の改定については、今後の加算要件の内容について検討していく。

●医療ニーズへの対応

- ・配置医師緊急時対応加算の創設
- ・見守り機器（介護ロボット等）の導入による夜勤配置加算の見直し
- ・医療提供体制の整備による看取り介護加算の見直し

●褥瘡発生の予防にむけた管理体制の評価（褥瘡マネジメント加算）

●排泄に介護を要する利用者への支援に対する評価（排泄支援加算）

●低栄養リスクの高い利用者への改善に向けた支援体制への評価「低栄養リスク改善加算」

地域包括支援センター

平成30年度(2018年度)介護報酬改定のポイント【一部抜粋】

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、国民1人1人が状態に応じた適切なサービスを受けられるよう、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現」、「多様な人材の確保と生産性の向上」、「介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続確保性の確保」を図る。

I、地域包括ケアシステムの推進

中重度の要介護者も含め、どこに住んでいても適切な医療・介護サービスを切れ目なく受けることができる体制を整備

【主な事項】

- 医療・介護の役割分担と連携の一層の推進
- ケアマネジメントの質の向上と公正中立性の確保
- 認知症の人への対応の強化

II、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現

介護保険の理念や目的を踏まえ、安心・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスを実現

【主な事項】

- リハビリテーションに関する医師の関与の強化

III、多様な人材の確保と生産性の向上

人材の有効活用・機能分化、ロボット技術等を用いた負担軽減、各種基準の緩和等を通じた効率化を推進

IV、介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続性の確保

介護サービスの適正化・重点化を図ることにより、制度の安定性・持続性を確保

【主な事項】

- サービス提供内容を踏まえた訪問看護の報酬体系の見直し
- 通所介護の基本報酬のサービス提供時間区分の見直し等
- 長時間の通所リハビリの基本報酬の見直し

*ご不明な点、詳しいことに関しては、担当のケアマネジャーがいらっしゃる方は、担当のケアマネジャーに聞いてみましょう。

デイサービスセンター

●一般デイサービスの定員を、水・木曜を定員40名に増やし新たに、介護予防・日常生活支援総合事業の事業者対象者コース（10名前後）を創設した。

●一般デイサービス、認知症デイサービスのサービス時間区分の見直しに伴い、現行の介護報酬が算定できるよう、送迎時間の見直し等を行った。

●いきいきトレーニングも、この度の介護報酬改定に伴い、介護保険での通所型・緩和型サービスへ移行し、サービスの継続をしていくこととなった。

居宅介護支援事業所

●質の高いケアマネジメントを推進する為、管理者要件を見直し主任ケアマネジャーとする。（経過措置期間あり）

●医療と介護の連携の強化の為、入院時情報連携加算の評価の充実・退院退所加算の評価の充実

●末期の悪性腫瘍の利用者に対するケアマネジメントに対する評価としてターミナルケアマネジメント加算の創設

新 入 職 員 紹 介

特養 介護職員
西元 汐里奈



特養 介護職員
天間 恵



デｲｰﾋﾞｽ介護職員
市川 弘恵



デｲｰﾋﾞｽ介護職員
佐藤 千紘



地域包括船堀 相談員
小川 智恵子



特養 看護師
安藤 忠昭



特養 アルバイト
清水 綾乃



特養 アルバイト
早川 侑希



● 介護職員・看護職員を募集しています。ご応募お待ちしております。 ●

特養常勤 看護職員

体制の変更に伴い月6回程度オンコールの出来る看護職員を募集しています。

資格

看護師

勤務時間

日勤 9:30~18:30

オンコールあり

給与

看護師260,000~(調整・資格手当含む)

※経験により優遇(経験者は経験加算有り)

オンコール手当1回2,000円

待遇

○オンコール手当・交通費・住宅手当等有り

○社会保険完備、退職金制度・有給休暇有り

特養常勤 介護職員

資格

ヘルパ-2級・初任者研修以上

または、福祉系専門学校・大学既卒者

勤務時間

日勤 9:30~18:30

早番 7:00~16:15

遅番 11:00~20:00

夜勤 17:30~9:45

給与

○専門・短大卒・介護士 220,000~

(諸手当含む)

○大学卒 230,000~(諸手当含む)

待遇

○夜勤手当・交通費・住宅手当等有り

○社会保険完備、退職金制度・有給休暇有り

○賞与年2回(前年度実績4か月)、昇給有り

○処遇改善加算金有り ○経験加算あり

特養非常勤 介護職員

資格

ヘルパ-2級~

勤務時間

日勤 9:30~18:30

早番 7:00~16:15

遅番 11:00~20:00

※応相談

※その他勤務時間・日数は相談に応じます。

給与 時給1,010円~

(資格により)

送迎ドライバー

非常勤介護職員

(運転業務)

時給:970円~

勤務日数等応相談

予め電話連絡の上、履歴書(写貼)郵送又は持参下さい。面接日設定は後日法人より連絡致します。

お問い合わせは 電話: 03(3877)0100 採用担当: 佐藤まで

広報委員会

一之宮美穂 相談員、伴弘道 事務員、山崎進次 事務員、関口浩太郎 施設長

通 信 欄

様のご家族へ(/)

利用者担当

社会福祉法人 東京清音会
特別養護老人ホーム 暖心苑
暖心苑デｲｰﾋﾞｽセンター
暖心苑さわやか相談室指定居宅介護支援事業所
熟年相談室 暖心苑(地域包括支援センター)
〒134-8625
東京都江戸川区北葛西4-3-16
TEL 03-3877-0100
FAX 03-3877-0188
TEL 03-3877-0181(さわやか相談室直通)
地域包括暖心苑船堀
東京都江戸川区船堀2-15-17ドゥエル船堀102号
TEL 03-5878-1521
<http://www.danshinen.org>